

長 沢 淳 夫 会 員

北クラブの伊香輪会員から写真をいただきました。

大 橋 富 次 郎 会 員

会議のため早退致します。上林さん、根岸さん、お元気でいってらっしゃい。

～〇～〇～〇～〇～〇～〇～〇～〇～〇～〇～〇～〇～〇～

上 林 会 員 ， 根 岸 氏 壮 行 会

- ではこれより上林会員、根岸さんの壮行例会に移らせていただきます。皆さんご存知のように、研究グループというのは、1年おきに派遣し受け入れるというようなことをくりかえしているわけですが、昨年、川崎で岡本さんが委員長になってやったときに上林さんが非常に努力されたその賜物として、今度は派遣の方に回りました。

場所はテキサス州のダラスで40日間近く産業・工業の見学、ロータリアンの家庭を訪問し、又、例会にも出席して勉強する機会でございます。ましてや、上林会員は団長という立場から、若い会員、団員に気をつかうことも多く、ご苦勞と思いますが、お身体を大切に大任を果されるようお願いします。

受け入れる方は昨年でございましたが、横須賀クラブからどうしても1名出そうということで相談していたわけですか、5名の内でも一番優秀な根岸君を選んでいただきましたのでご紹介をお願いします。

○ 稲川会員

今回、研究グループ交換計画に基いた海外派遣団に根岸君を推せんしたところ、参加させていただくことになりました。本人は横浜市大出身、当社で7年経理を担当しているわけでございますか、上林会員はじめ皆様方のお力にすかつて行きますので、せひともこれに報いるだけのことをしてきてもらいたいと思っています。皆様方もどうぞよろしくご指導をお願いします。

本人も当日はゲスト席にすわって晴れがましすぎると思っているのでは

はないかと存ずるわけですが、どうぞよろしくお願いいたします。

○ 横須賀商工会議所・市川副会頭あいさつ

商工会議所を代表して会頭に代りまして激励の言葉を差し上げたいと思います。

上林さんはロータリーの中でも有能な士であり、今回選ばれて渡米するわけですが、当会議所の中でも若手の議員として非常に有能で、将来必らず横須賀の経済界で雄飛される方であろうと皆信じており、今回团长として選ばれたのも又当然のことであると思います。

あちらで、ロータリーのこののみならず、当地の商工業界のためにいろいろなことを勉強して、帰国してからわれわれにあちらの様子をよく教えていただいて、これからの発展にお力添えを戴ければありがたいと思います。

上林さんがお留守の間の40日間に会議所としましては常任委員会もありますし、予算の審議をする総会もあるので、残ったものが努力してお帰りになられてからのまちがいかないようにしますので、安心してお出かけください。どうぞいってらっしゃいませ。

○ 上林GSEガバナー代表

出発の日日が迫ってくると、当初は喜んでお受けしたのではございますが、だんだん嫌になってまいりまして、まして、このような経済状態ですし、ひさしぶりにこのような晴れがましい席で身に余るようなお言葉をいただくと思いの縮むような思いがいたします。

ところが、行きますテキサス州は非常におおらかな人種が多いことと非常に大きな話の多い州だそうで、合衆国の中でも特殊な形をつくっている州とのことでございますので、そういう意味では、身の縮むような思いも今からきたえておかないとテキサスに行けないのではないかと思います。どうも本日は素晴らしい壮行会を開いていただいてありがとうございます。

先程お話のございました、去年のGSEの委員会で、さいか屋の岡本専務さんが委員長で、私はそのお人柄にうたれて、外国からのGSEの

メンバーをいろんな意味で誠心誠意お迎えしたのが機縁となり親しくなりまして、若干予感していたことが現実になり、お前行ったらどうだというお話が現在の久米委員長と岡本さん、お二人から出たわけで、本日に至ったわけでございます。

仕事のこと、家庭のことを考えるとお受けできるような立場ではありませんが、私は次のような理由で受けさせていただきました。

一般的に横須賀というクラブは、今までR I財団に寄附してきていますが、その見返りとして今まで一人の留学生も送り出しておりません。ご自分でもたいへんな努力をなされた石渡ガバナーは、間接的に使ったということはあったかも知れませんが、実際には横須賀クラブとしては一度も直接に使ったということはないわけです。そういう意味で横須賀としてはR I財団の基金の恩恵に浴するという意味で、当会からもG S Eのメンバーを出そうということで会長とも相談して、関東自工より今回のような素晴らしい人材を待たわけです。それから、私は偶然、団長、リーダーということで一緒に行くことになったので、二人分のR I財団の基金を使うだろうということが第一の理由であります。

第二の理由としましては、当横須賀クラブにおきましても、井上先輩ですとか、あるいは若手では丸山君ですとか、小沢君ですとか、あるいは私と大体同年配では森本さんとか、何かある場合には私の代りに行ってくださるような人材はいくらでもいらっしゃるわけで、横須賀にも、第四分区にも、この機会にもってきてしまおうということで、これを受けたのが第二の理由であります。

そして第三の理由としては、前々回は二世の方が団長でした。前回のオーストラリア地区には山手学院の舎監さんであり、理事であるという英語を普段おつかいになっている特殊な立場の方が団長でした。今回偶然のことでお話があったのですが、企業体としても非常に小さい企業でありますし、私も普通のことでは30日、40日の時間をとれる男ではありませんが、こういう機会に一つのチャンスでありますから自分自身に挑戦してみて、自分の企業に40日の空白をあけてみようということで、私共のような小さな企業体、小さな企業の長でも、こんな団体の長を立派にやっていけるんだということを立証してみたい、そして、次の機会にもっと若い人がG S Eの団長としてやってもらいたい、こういう

意気込みで、これを第三の理由としてお受けしたわけでありませう。

第四の理由として、自分自身に対してのことは、今までお話した公的な理由とは別になります。私の今までの数回の渡航では、あくまで旅行者としてしかアメリカをみておりませう。昨年の渡米での経験を申し上げますと、私が過去に思っていたよりもアメリカの市民のモラルがアップしております。企業体のトップ、友人の邦銀支店長などにこの感想を話すと、「事実そのとおり、学校教育を通じてモラルアップがみられる。特殊な地域ニューヨーク等を除いて事実アップしている」ということでした。例えば、その証拠に公衆電話の電話帳がひじょうにきれいでした。アメリカ市民のモラルが底辺でも力強くアップしている、そういうところで、一つの州の力と言いますか、合衆国の方向づけをウォーターゲート事件以来してるんだなと感じましたが、そういうことを、1カ月余のダラス市民の中での生活を通じて、旅行者としてではなく生活者として見てきたいということ、これが先程申し上げた40日間を空白にするという自分自身に対する理由であります。

このようなことから、過程を経て私がリーダーとなり5人の団員を選んでいただいたわけありますが、石渡ガバナー、パストガバナー、G S Eの委員会等で選ばれた5人、それぞれ個性をもった青年達が5人、私のもとに揃いまして、彼等の各々企業体の中の仕事は違いますが、私共の根岸君は経理関係のベテラン、他に総務秘書、営業、技術関係などベテラン揃いで、又、意欲的で、それぞれ5人が私を除外して自主的に勉強しております。私はこの団員5人の勉強したエッセンスをサンフランシスコで盗み取ってしまおうと思っておりますが、ことほどさように意欲的な素晴らしい青年達ではあっても、どれ程の成果が挙がるかわかりませうが、私としても良い機会がつかれるのではないかと思います。と同時に、団長の私といたしましては、事前にあれこれ公表はやめておこうという方針で、知事へのごあいさつのみに留めておきまして、先ずやってきたことみなさんにご報告しようと、このような決意で出発したいと思っております。

聞くところによりますと、保守的な面、又、本当のアメリカが残っているのがダラスだそうで、34のRCがあるそうですから、いくつかのロータリーは見て参りまして、それぞれ観察してきたことを青年達の口

を通し、あるいは私の口を通して、今日のこのような会合をご開催いただきましたことのご恩に報いる意味でご報告いたしたいと思っております。

さらには、今日の会のみならず本日ご欠席の石渡ガバナー、井上さんあるいはその外の方達からご餞別、お写真、お薬、期待のお言葉など頂戴し、非常に自分自身今恵まれていると思っており、何としても皆様のご恩に報いたいと思っております。

十分な自信はございませんが、いずれにしても一生懸命やって参ります。テキサスの人間は非常に大きいようで、先日会頭が、はったりがきかなくてはダメだということをおっしゃっていましたが、少し向うでそんなものも盗み取りながら帰ってきたいと思っております。どうも本日はありがとうございました。 (拍手)

○ 根岸団員あいさつ

先程ご紹介にあずかりました関東自動車工業に勤めます根岸敏であります。このたび当クラブの皆様のお蔭をもちましてG S Eのメンバーに選ばれたことでは皆様に感謝しており、又、私の将来にも大きく役立つものとしたらと思っております。

昨年11月以来、メンバーで過1回準備の会合をもってまいりましたが、上林団長の統率、ご指導のもと、きっと成果を持ち帰り、皆様のご期待に報いたいと念願しております。本日はお忙しいところ、壮行会を催していただきありがとうございました。 (拍手)

○ 村瀬会員

上林団長、根岸団員のご健康とご壮行のためにご乾杯をお願いします。乾杯。



(拍手)